

大腸内視鏡などの検査で異常が認められないのに、腹痛や腹部不快感が繰り返り起こり、次の3つの項目「排便によって症状が軽くなる・症状がある時に排便の頻度が変わる・症状がある時に便の形状が変わる」のうち2つ以上当てはまる場合は、過敏性腸症候群が疑われます。

す。症状の現れ方により、下痢型・便秘型・混合型に分類され、男性では下痢型、女性では便秘型が目立ちます。原因としては、遺伝要因・感染・腸内環境の悪化・ストレスなどが考えられ、単独の要因で発症するのではなく、それぞれの要素が病状に悪影響を与え、症状が長期におよぶことも少なくありません。



福本 学

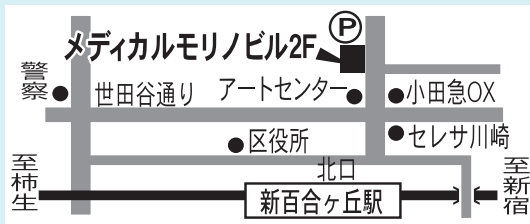
内科

新百合山手福本内科

☎ 044-955-8877

麻生区万福寺 6-7-2

メディカルモリノビル 2F

<http://www.fukumotonaika.jp/>

治療は内服薬の他、不規則な食生活・香辛料・アルコールなど病状を悪化させる要因の回避、慢性的な疲労の蓄積や睡眠不足などの生活習慣の見直し、心理療法などが有効です。日常生活に影響が出ている場合は、病院での受診をすすめます。